

中学校社会科『山梨県史』活用可能資料及び展開例

「甲州ブランド全国へ」

1 活用資料・展開例に対応する、学習指導要領中学校社会科の目標と内容

目標

- (1)我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2)歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

内容

(1) 私たちと歴史

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (イ) 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。

(2) 身近な地域の歴史

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア) 比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現すること。

2 県史アンケート結果と対応する活用資料の項目

・水害・治水

- ・地域の残る文化財
- ・戦時下の暮らし
- ・甲斐源氏
- ・幕末・維新の山梨
- ・富士川舟運

・地域の発展に尽くした先人の業績

- ・甲府空襲
- ・戦国武田三代
- ・身延山と日蓮
- ・天保郡内騒動
- ・甲府城・城下町

3 内容(2)「身近な地域の歴史」に該当する『山梨県史』

通史編3(近世1)

通史編4(近世2)

資料編8(近世1 領主)

資料編9(近世2 甲府町方)

資料編10(近世3 在方)

資料編11(近世4 在方)

資料編12(近世5 在方)

資料編13(近世6上 全県)

資料編13(近世6下 全県)

4 「近世の日本」活用可能資料(例)

学習指導要領該当項目	山梨県史	活用可能資料
(1) - ア、(2)ア、イ		
産業・交通の発達	資料編10 ・第3章 ・第4章 資料編11 ・口絵 資料編12 ・第5章 ・第6章 資料編13下 口絵 ・第5章 通史編3 ・口絵 ・第5章 ・第6章 ・第7章	農業と諸稼ぎ p 261 ~ 416 交通と地域社会 p 419~563 青柳河岸絵図 / 甲州三河岸(青柳・鯉沢・黒沢)絵図 / 富士川水運絵図 / 紙漉職人絵図 / 早川渡船絵図 / 富士川渡船絵図 甲州三河岸と富士川水運 p 347 ~ 426 駿信・駿州往還と宿場 p 429 ~ 589 甲州道中の交通と輸送 p 669~817 郡内の経済 p821~964 上り曳き船の図 / 復元された富士川舟運の様子 / 船食岩 / 船繋ぎ石 / 水行直仕形図絵 / 青柳河岸の御米蔵 / 富士川舟運に使用された高瀬舟 / 岩淵河岸古写真 塩と廻米 p277 ~ 500 釜無川上空からみた信玄堤 / 狭中八珍果 / 紙漉の様子 / 甲州名産の柿 / 甲府の水菓子問屋と商品 地域の産業 p489~647 山 p651~769 治水と水利 p773~942

5 展開(例)

* 対象となる時間 学習指導要領 内容(2)身近な地域の歴史

株仲間・都市の繁栄などは今時の対象としていない。

* 所要時間 1時間(50分)

* 目標

- ・新田開発について、身近な地域の様子から、近世の農業生産の拡大について考え、表現することができる。
- ・「龍王煙草」等の商品作物の生産・流通の様子から、甲州道中と富士川舟運の交通網の発達を通じ、江戸・大阪との全国流通つながりを知る。また、地理分野とも関連し、現代山梨の果樹栽培の展開について考え、理解することができる。

図表資料は、パワーポイントと手元の学習プリント等で提示していく。

	学習の流れ	提示資料	生徒の活動
導入 5分	・「～新田」「～新町」という地名の場所が身近にないだろうか？	通史編 3 p865 「新居・新田・新町等地名」(表7-9)	・既存知識や表から「竜王新町」「富竹新田」などの地名を思い出す。
展開 20分	<p>「新田開発」の概要を学習する。</p> <p>・表からどんなことがわかるでしょうか？</p> <p>年貢米の生産を増やし、米をより多く生産するために、当時の人々はどのような工夫をしたのだろうか？ 資料から牛匂堰、大袋堰(旧敷島町)の利用を知る。 農具・農法の開発、寒さに強い品種の改良</p> <p>・「龍王煙草」について知ろう。 山梨と言えば「ぶどう」「もも」。でもそれ以外にこんな隠れた名産があった！</p>	<p>通史編 3 p867 「宝暦高帳よりみた筋別高増加の様子」(表7-10)</p> <p>通史編 3 p867 「『甲斐国誌』にみえる堰」(表7-8)</p> <p>通史編 3 p552,574 第3節煙草栽培の広がり</p>	<p>・表を活用し、石高が増加したことを知る。</p> <p>教科書や諸資料から考えて発表をする。</p> <p>同じ市内で生産されていた「龍王煙草」等について知る。</p>
展開 20分	<p>商品作物や年貢米の出荷ルートを学習する。</p> <p>・年貢米はどこに運ばれたのだろうか？地図で確認しよう。</p> <p>・絵を見てみよう。何をしているところでしょうか？ 「富士川舟運」について学ぶ。 下りは6時間、帰りは4日の舟運 数々の難所、石碑、角倉了以等 「上り荷」「下り荷」</p> <p>・県内の産物はどこへ運ばれていったのだろうか。</p>	<p>近世の県内主要交通図</p> <p>資料編13下 口絵 石丸岳水画「上り曳船の図」</p> <p>廻船の航路図・大阪の蔵屋敷の挿絵など。</p>	<p>陸路(甲州道中/江戸へ)と水運(釜無川・富士川/清水 江戸)を地図で書き込み表現する。</p> <p>全国の航路や主な廻船、蔵屋敷等の基礎的な用語につなげ、全国流通と輸送路について理解する。</p>
まとめ 5分	<p>年貢米の生産とともに、商品作物の生産に力をいれた甲斐の国の産業や流通のようすをまとめよう。</p> <p>江戸に近い 市場への交通路の発達 自然条件(地形・扇状地・水利)</p>		<p>・稲作に適さない自然条件を越え、商品経済の波に甲斐の人々が乗っていったことに気づく。</p> <p>・現在の山梨県(果樹栽培、中央道、東京とのつながり)と比較し近世の産業・流通が今に生きていることを考える。</p>

【学習資料参考プリント】

甲州煙草の流通 県史「通史編3」近世1

- ・慶長期(1596～1615)に煙草が大流行。幕府は禁令を出すが無効なし。
- ・徳川綱重領下の甲府藩においても、酒造とともに禁令
- ・宝永二年 甲斐三郡で煙草栽培が盛ん。甲府家の「御用煙草」に。
- ・甲府町年寄 江戸桜田屋敷への年始挨拶の諸経費総額甲金4両3分3朱余
手土産代が甲金一両。総額の5分の1をしめる
- ・煙草問屋・・・城下の9大主問屋の一つ
(他は穀、小問物、布物、紙、茶、塩、肴、薬種)^{しびゃ}
- ・甲州煙草の名産地としては小松、和田、門前(甲府市)、石火箭、萩原、(甲州市)、薬袋(早川町)龍王(甲斐市)、など。
甲府近辺 甲府西部(中巨摩)
- ・扇状地をいかす。
- ・江戸時代後期には、葡萄に匹敵する生産額。
- ・市場・・・はじめは自家消費。のちに甲府城下、谷村城下、江戸へ。大阪、信州、尾張まで。「下り荷」
- ・ルート・・・甲州道中
甲府より東 江戸へ。 甲府より西 信州へ。 甲府より南 大阪、駿州(静岡)
葦崎宿(市)から青柳(増穂町)から富士川河港へ。
富士川舟運
龍王煙草 「きざみたばこ」ではなく「葉煙草」

通史編3 p865

「新居・新田・新町等地名」(表7-9)

資料編13下 口絵 石丸岳水画

「上り曳船の図」

(鯉沢町教育委員会所蔵)

表7-9 新居・新田・新町等地名

地名(郡名) 村 名	新居・新田 等を付す地名	新田・新町 等を付す地名	地名(郡名) 村 名	新居・新田・新町 等を付す地名	新田・新町 等を付す地名
万力船(山梨)		山新田	篠原村	新居・中居	
覆屋村		新町	金井新田		香取新田
上岩下村	新居	新地	大下桑村		新田
新野村		新町	竜王新町		新田
栗原船(山梨)			竜王新町		
西後屋敷村			団子新居		
大石和船(八代)			宮久保村	中居船	
八田村	新居		遠見橋(巨摩)		
東新居村	○		小田川村		新田
狐新居村	○		夏目原新田		○
新巻村	新居		大蔵村		○
藤ノ木村		新田	袴神子新町		○
小石和船(八代)			塚川村		○
高栢村	新居		松向村	新居	○
中瀬船(八代)			土普尾村	北新居	○
坊ヶ崎村		新田	谷戸村	下新居	○
中瀬船(巨摩)			大八田村	新居	○
清津新居	○		西井出村		○
西桑村	下新居		箕輪村		○
西桑新田		○	箕輪新町		○
上桑新居	○		箕輪新町	新居	○
押尾村		新田	付山北新田		○
西篠原村	○		浅尾新田		○
鹿島村		新居	武川船(巨摩)		
築地新居	○		養尾新田		○
築地新田		○	青木村		○
山之神村	新居新田		島原村		○
今福新田		○	西郡船(巨摩)		○
高田新田		○	坂野新田	新居	○
中郡船(山梨)			曲輪田		○
土阿部村	○		西野村	北新居・	○
北山船(山梨)		新町	落合村	新居	○
上飯田村		新田	長沢村	新居	○
山崎村			飯沢村	新居	○
平藤村	新居		西河内船(巨摩)		
下瀬船	新居		大堰村	新居	
北山船(巨摩)					
富竹新田		○			

(注) ○印は該等村名

(「甲斐国志」杜屋嘉五郎作)



石丸岳水画「上り曳船の図」(鯉沢町教育委員会所蔵)
明治三十年代の様子を描いたとされる

甲州煙草の発展から見えること

- ・扇状台地の山村、畑作地帯(稲作条件の厳しい地域)において、過酷な自然条件をいかし、より経済性の高い商品作物を栽培し、より高い経済効果を生み出した。
- ・甲州道中、富士川舟運、生産と流通の両側面から刺激しあい、「商品作物」により、生産性の高い地域へと変貌。